
．事業の概況

損益の状況

事業総利益は2億8,823万円で前年対比1億1,773万円の減少となりました。

事業利益は1億6,041万円で前年対比7,713万円の減少となりました。

経常利益は2億6,249万円で前年対比8,034万円の減少となりました。

税引前当期剰余金は2億4,451万円で前年対比4,078万円の減少となりました。

税引後当期剰余金は1億6,979万円で前年対比5,036万円の減少となりました。

営農指導事業

平成26年度は、夏場の高温乾燥と10月の相次ぐ台風による被害、12月の低気圧による強風被害・寒波の襲来による降霜害と気象条件が農産物の生育に大きく影響を及ぼした年でした。

栽培履歴記帳を推進するとともに農薬の適正使用を呼びかけ、安心・安全な農産物の生産を指導しました。JA独自の鳥獣被害対策事業も2年目に入り、管内の捕獲頭数も前年を大きく上回る実績をあげ農産物の鳥獣被害の軽減に地域を挙げて取り組みました。

園芸部門

- 1．JA伊豆太陽いちご委員会で農業経営支援の取り組みを始め、経営安定に努めました。
 - 2．絹さやの種子増殖事業を実施し、伊豆独自の種子の確保に努めました。
 - 3．花卉類の新品種の試作と調査を実施するとともに、栽培技術の向上に努めました。
-

柑橘部門

- 1．柑橘生産者大会を開催し、早期摘果による中晩柑類の大玉生産に努めました。
 - 2．各部会において栽培講習会・園地巡回を実施し、高品質果実の生産に努めました。
 - 3．防除暦を遵守した適期防除により、安心・安全な柑橘類の生産に努めました。
-

林産部門

- 1．山葵の出荷情報の伝達を系統販売機関と密に取り、有利販売に繋げるとともに消費の拡大及び生山葵のPRのため、消費宣伝会を実施しました。
 - 2．選別講習会の開催による選別技術の向上、ほだ場巡回による栽培技術の向上に努めました。
-

生活指導事業

- 1．新たな食農教育活動に、青壮年部・女性部・支店職員が協力して取り組みました。
 - 2．～いっしょにやろうよ、お手玉ポン～に取り組み、お手玉を作り幼稚園等へプレゼントしました。
 - 3．いきいきライフセミナーを通して加工教室・健康教室を開催しました。
-

広報事業

- 1．広報活動を通じて、農業の魅力を伝えました。
 - 2．食育の大切さや食の安全性をPRしました。
 - 3．ホームページを通じ、管内の情報発信に努めました。
 - 4．報道機関に積極的に情報を提供し、パブリシティの強化に努めました。
-

販売事業

夏場の高温と乾燥、秋の台風、12月の強風及び寒波の襲来と気象の影響を大きく受け、全般的に価格面では前年を上回る取り引きで推移しましたが、数量では計画を下回る品目が多く販売実績は伸び悩みました。厳しい販売環境のなか、産地の販売情報を迅速に経済連・市場へ伝え、情報を共有することにより有利販売に努めました。

そさいでは絹さや、果実では甘夏・ニューサマーオレンジ、花卉ではカーネーション・スナップ・マーガレット・花麦が計画未達となりました。いちご・山葵・ストレリチアが計画を上回り、全体では計画を達成することが出来ました。2年目に入った「農の駅ほのぼの売店」も順調に推移し、計画を大きく上回ることが出来ました。

購買事業

平成26年度の日本経済は、アベノミクス政策により、株高・円安基調ではありますが、第1次産業及び「JA管内にはその効果は浸透されていない環境にあります。生産資材の価格も上昇しており、4月からの消費税増税による購買意欲の減退もあり、農業を取り巻く環境は、より厳しい状況が続いております。

このような状況下、仕入業者を競合させ、かつ、手数料を極力抑えた価格設定に努めて、組合員の生産コストの削減に取り組みました。10月からは、高齢者支援事業として子店の16店舗において、食料品等お買得市を毎月実施することに取り組みました。

1. 生産資材

平成26年4月からの消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、計画対比では肥料89.7%、農薬88.4%、包装資材91.3%、農業機械87.4%と計画を下回りました。

また、原油価格の下落及び暖冬の影響により、営農用A重油の供給高が大幅な減少となり石油類（生産）は、72.9%と大きく計画を下回りました。保温資材につきましては、ハウスムィかん部会が農林水産省の省エネ設備リース支援事業を導入したことにより、計画対比143.4%と計画を大きく上回りましたが、生産資材全体では、88.5%と計画を下回りました。

2. 生活資材

生活資材につきましても、生産資材と同様、駆け込み需要の反動により、計画対比では購買米88.0%、食料品95.8%、日用品89.9%と計画を下回りました。

また、河津給油所は平成27年1月28日をもって閉店し、他業者へ売却したことにより石油類（生活）は、84.5%と大きく計画を下回りました。代行推進（シロアリ防除・補聴器）の供給が順調に伸びたことにより、その他生活資材が計画対比139.2%と大きく計画を上回りました。しかし、生活資材全体では、93.5%と計画を下回りました。

3. 葬祭事業

施行件数は342件で、前年より76件増加しました。6月、稲取に「メモリアル東伊豆」がオープンし20件の施行がありました。メモリアルホールの利用は順調に推移し、ホール利用率は全施行件数の78%となりました。

金融事業

国内景気は、消費税増税の反動減による影響はあったものの、日銀の量的・質的金融緩和強化等、デフレ脱却に向けた経済対策を講じ、経済は緩やかな回復基調を持続しております。

しかしながら、管内の観光業をはじめとする産業は低調推移を続けるなか、少子高齢化による人口減少等、管内の経済低迷に更に拍車をかけております。

このような状況下、「JA伊豆太陽3か年計画の初年度である平成26年度については、「組合員・利用者に選ばれ、成長し続けるJA伊豆太陽の実現」を目標に掲げ、農業金融としては、担い手農業者との関係強化に取り組み、地域金融機関として、他行動向を注視しながら、個人金融資産の取り込みと、家計メイン化に取り組みました。貯金については、年度初来16億円の伸長があり、1,659億円の実績を積み上げることができました。貸出金については、住宅資金等の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、保証料負担軽減スキームを継続実施しましたが、大きな成果は見られず年度初来7億4千万円の減少に終わりました。

共済事業

ＪＡ共済を取り巻く環境は、進行する少子高齢化と収縮する地域経済のなか、組合員・利用者ニーズの変化・事業基盤の縮小など厳しい状況が続いております。

本年度は3か年計画の初年度にあたり、「利用者満足度向上」・「地域に密着した事業活動」・「保障点検と提案」を基本方針とし、事業展開を行いました。また、すべての共済契約実績を共通に評価する、全国基準の推進総合ポイント方式を本年度から導入しました。

このように厳しい環境、競合他社がひしめくなか、ライフアドバイザーを中心とする訪問活動により、保障の見直しと提案活動に積極的に取り組んだ結果、長期共済においては、こども・介護・がん共済などの顧客ニーズに対応した生存型保障の新規契約が増加しましたが、予定利率の引き下げに伴い一時払養老契約が減少しました。

一方、短期共済においては自動車事故査定への対応力が、県下ＪＡ第2位の利用者満足度評価を受け新規獲得に繋がるとともに、継続時の積極的なグレードアップ推進により、掛金・ポイント目標ともに達成することができました。

共済保全業務につきましては、自然災害損害調査員研修会をはじめとする各種研修会を実施し、知識向上、対応力向上を図るとともに、コンプライアンスの徹底に努めました。

加工事業

観光業を中心とした加工品卸売販売が厳しいなか、「わさび漬」の量販店への販売や道の駅直売センターでの販売力向上に努めました。加工所全体の販売高は162,800千円（計画比101.8% 前年比105.1%）となり、計画を達成することができました。

福祉事業

高齢化が進むなか、医療、地域、介護と連携を強め、居宅介護支援事業では、計画した利用者数を達成しましたが、訪問介護事業は、利用者の死亡・施設入所等で計画した利用者数を下回りました。

居宅介護支援事業では、年間1,610人の計画に対し1,621人、訪問介護事業では年間1,010人の計画に対し948人の実績となりました。福祉事業全体では、費用削減に努め、差引収益43,935千円（計画対比103.5%）となり、計画を達成することができました。

監査部門

平成26年度は、内部管理態勢および内部牽制を重視した監査の強化に努め、不祥事の未然防止と早期発見に重点を置き、本店を含め全事業所の無通告監査及び一部の事業については外部確認を実施し、リスクの高い取引や事務処理等の適正性・有効性を中心に監査を実施しました。

また、管理者に対しては、日常の管理状況を検証し、リスク認識の強化を図るとともに管理意識の高揚に努め、担当者には事務マニュアルに沿った事務処理の徹底とコンプライアンス意識の強化を図る指導監査を実施しました。

組合が対処すべき重要な課題

1．J A 伊豆太陽による農協改革の取り組み

事業計画で掲げた農業所得向上および地域社会への適切なサービスの向上を向こう5年間で着実に実践する必要があります。

2．農業所得向上のための農業経営体質強化の取り組み

主幹作物別振興計画の実践や産地力の維持・向上に向けた生産部会の強化に努め、農業経営の体質強化を図る必要があります。

3．支店・事業所の耐震強化の取り組み

未曾有の災害に備えるため、支店・事業所施設等への耐震強化を図り、組合員・地域利用者および職員の安全強化を図る必要があります。

4．葬祭事業強化の取り組み

西部地区の利用者を視野に入れた葬祭会館の建設を実施する必要があります。

トピックス

年 月 日	処 理 事 項
平成26年4月1日	平成25年度定年退職者退所式
3日	L A進発式
4日	第55回東伊豆町花卉園芸組合通常総会
10日	第24回青壮年部通常総会
15日	第24回女性部通常総代会
17日～24日	平成25年度決算監事監査
28日	第1回定例理事会
	第1号議案 平成25年度不良債権の処理方針について
	第2号議案 「要改善」A」指定に伴う再発防止策の策定について
	第3号議案 平成26年度コンプライアンス・プログラムの設定について
	第4号議案 自己資本比率算出要領の一部改定について
	第5号議案 平成26年度余裕金運用について
	第6号議案 平成26年度余裕金運用方針・計画について
	第7号議案 組合員表彰について
	第8号議案 介護予防訪問介護事業運営規程の一部変更について
	第9号議案 固定資産（南中支店）の取得について
5月 1日	青壮年部南伊豆支部食育活動（もみまき）
1日～7日	J A全国監査機構期末監査
7日	静岡県花卉園芸組合カーネーション部会消費宣伝
8日	青壮年部河津支部食育活動（芋さし）
8日～9日	ちょきんぎょ旅行1班（お伊勢参りと花咲く浜名湖巡りの旅）
9日	東伊豆花組合母の日消費宣伝
14日	T P P 決議の実現を求める国民集会
14日	南中支店起工式
14日～15日	ちょきんぎょ旅行2班（お伊勢参りと花咲く浜名湖巡りの旅）
15日	青壮年部稲取支部食育活動（芋さし）
15日～16日	ちょきんぎょ旅行3班（お伊勢参りと花咲く浜名湖巡りの旅）
16日	西部女性部さつき会（国民宿舎伊豆まつざき荘）
21日	第1回監事会
22日	女性部観劇（東京）
22日	青壮年部熱川支部食育活動（芋さし）
27日～28日	女性部いきいきライフセミナー開講式
29日	第2回定例理事会
	第1号議案 経営安定化積立金積立基準の一部変更について
	第2号議案 平成25年度貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案 注記表、事業報告書、附属明細書の承認について
	第3号議案 第24回通常総代会について
	第4号議案 「与信業務に関する基本方針」の一部改正について
	第5号議案 当座貸越の条件変更について
30日	女性部下河津・上河津支部食育活動（芋さし・落花生の種まき）

年 月 日	処 理 事 項
平成26年6月2日	女性部下河津・上河津支部食育活動（芋さし・落花生の種まき）
9日	青壮年部南伊豆支部食育活動（田植え）
10日	メモリアル東伊豆竣工式・落成式
11日	中部女性部いなほ会（下田東急ホテル）
17日	食農教育推進委員会
19日	平成25年度奥伊豆椎茸生産者連合会総会
25日	第24回通常総代会（総代843名中 750名出席）
25日	臨時理事会
	第1号議案 役付理事の体制について
	第2号議案 役付理事並びに代表理事の選出について
	代表監事及び常勤監事の選出について
	第3号議案 理事専門委員会設置規程の一部変更について
	第4号議案 理事専門委員会担当理事の選出について
	第5号議案 平成26年度理事報酬の決定について
	平成26年度監事報酬の決定について
	第6号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
	退任監事に対する退職慰労金の支給について
	第7号議案 平成26年度会議日当について
25日	第2回監事会
27日	平成25年度東部地区苺生産者大会
7月 2日	第3回定例理事会
	第1号議案 平成25年度業務報告書について
	第2号議案 平成25年度連結業務報告書について
	第3号議案 伊豆太陽農業協同組合職制規程（機構図）の一部変更について
	第4号議案 理事貸付について
	第5号議案 平成25年度決算監事監査指摘事項回答書について
2日	第3回監事会
8日	野ぶき部会総会・販売報告会
19日	ハウスみかん消費宣伝
22日	第61回伊豆花卉園芸組合連合会通常総会
23日	女性部役員と常勤理事・参事との懇話会
28日	第4回定例理事会
	第1号議案 平成25年度ディスクロージャー誌の開示について
	第2号議案 出資減口について
	第3号議案 農産物検査業務規程の一部変更について
28日	第4回監事会
30日	野菜栽培講習会
31日	絹さや部会総会・販売報告会

年 月 日	処 理 事 項
平成27年2月2日～5日	金融・共済合同観劇「松居直美ショー・石原詢子歌謡ショー」
6日	東伊豆町女性部食事サービス
17日	東部いちご部会中間販売検討会
17日	J A 伊豆太陽1支店1協同活動発表大会
19日	青壮年部による稲取駅の柑橘剪定
19日	マーガレット消費宣伝
20日	⓪わさび共販委員会販売検討会
20日	静岡県柑橘生産者大会
27日	第11回定例理事会
	第1号議案 平成27年度事業計画(案)について
	第2号議案 出資減口について
	第3号議案 固定資産(南中支店追加工事)の取得について
	第4号議案 伊豆太陽農業協同組合営業時間細則の一部変更について
	第5号議案 伊豆太陽農業協同組合職制規程(機構図)の一部変更について
	第6号議案 西部地区葬祭会館建設委員会の設置について
	第7号議案 新規融資申込について
	第8号議案 参事の任免について
27日	第11回監事会
3月 3日	平成27年度新採用職員入所式
7日	第25回 J A 伊豆太陽農業祭
10日～12日	J A 全国監査機構資産自己査定監査
16日	第12回監事会
18日	女性部いきいきライフセミナー閉講式
30日	第12回定例理事会
	第1号議案 伊豆太陽農業協同組合職制規程(業務分掌表・決裁基準表)の一部変更について
	第2号議案 宅地等供給事業実施要領の一部変更について
	第3号議案 理事貸付について
	第4号議案 平成27年度余裕金運用について
	第5号議案 平成27年度余裕金運用方針・計画について
	第6号議案 利用事業(なめこセンター)廃止について
31日	平成26年度決算棚卸監査